

からゆたか（青果用）
—早期肥大性のサツマイモ新品種—

(独) 農研機構 作物研究所
畑作物研究領域 主任研究員

高田 明子

1. はじめに

青果用サツマイモの通常栽培期間は約120～160日と長く、気象や前後作により栽培期間が十分に取れない地域では導入が難しく、経済的な栽培適地が限られている。また、青果用サツマイモは年間のうち5～8月の価格が最も高く、高値出荷を狙った早掘り栽培が行われている。早掘り栽培向けには「高系14号」が多く使われているが、いもの外観や収量は十分ではない。これから早期肥大性品種への要望が根強くある。そこで、短期間でいものが肥大して収量が高く、いもの外観が良い品種を育成した。

2. 育成の経過

「からゆたか」(旧系統名:関東132号)は、ごく多収で蒸切干適性のある「関東123号」を母、多収で外観に優れる「ベニオトメ」を父とする交配組合せから選抜した品種である(図1)。交配採種は2003年に九州沖縄農業研究センターで実施し、翌2004年以降10年間をかけて作物研究所において選

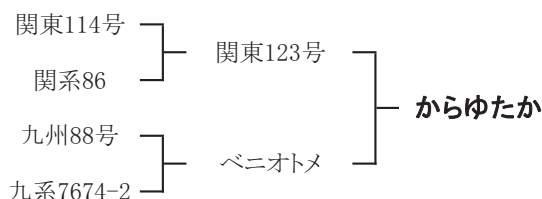


図1 「からゆたか」の系譜

抜・育成を行った。2014年3月に品種登録出願（出願番号：29026号）を行った。

3. 特性の概要

(1) 形態的特性

「からゆたか」の草型はごく匍匐型で、茎の太さはやや細く、茎長や節間長は「ベニアズマ」より長く、巻きつる性がある。葉形は「ベニアズマ」と同じ心臓形で、頂葉色は帯淡紫淡緑、葉色は緑、葉の大きさはやや小さく、葉脈色は「ベニアズマ」より着色の程度が少なく、蜜腺色（着色）はやや多である。

しよ梗の長さはやや短く、強さはやや弱、いもの形状は紡錘形、大きさはやや大である。いもの皮色は赤紫、肉色は淡黄で、いもの外皮はやや滑らかで、条溝や皮脈がなく、「ベニアズマ」や「高系14号」に比べて外観が良い（写真1）。



写真1 「からゆたか」の塊根

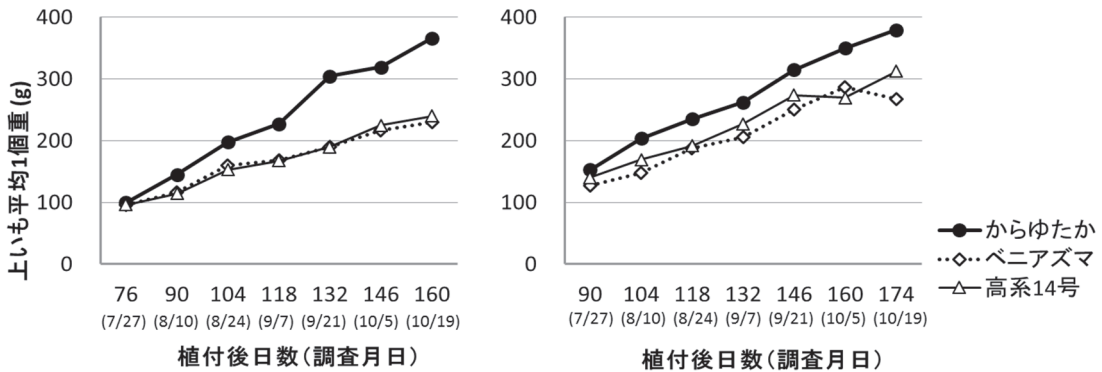


図2 マルチ標準 (左)・早植 (右) 栽培での上いも平均1個重の変化 (育成地, 2010-2011年)

表1 「からゆたか」の収量等の調査結果 (育成地、2008-2013年)

品種名	マルチ早掘栽培				マルチ標準栽培			
	上いも重 (kg/a)	標準 比 (%)	上いも数 (個/株)	上いも平均 1個重 (g)	上いも重 (kg/a)	標準 比 (%)	上いも数 (個/株)	上いも平均 1個重 (g)
からゆたか	324	185	3.6	235	479	165	3.9	312
標準) ベニアズマ	176	100	2.4	193	291	100	2.9	261
比較) 高系14号	229	131	2.9	203	330	114	3.5	240

注 上いも：50g以上のいも。早掘栽培：4月下旬植え8月下旬収穫、標準栽培：5月中旬植付10月中旬収穫、400株/a。

(2) 生態的特性

「からゆたか」の生育中の上いも平均1個重の変化を図2に、収量調査結果を表1に示した。「からゆたか」はいもの肥大が早く、育成地では挿苗後約100日で平均1個重が200gとなる。1株当たりの上いも数も多く、収量は「ベニアズマ」に比べて早掘栽培で1.8倍、標準栽培で1.6倍にのぼり、ごく多収である。切干歩合やでん粉歩留は「ベニアズマ」や「高系14号」より低い。

苗床に伏せ込んだ際の萌芽はやや遅く、萌芽数はやや少ないが、萌芽揃の整否は中程度で、萌芽後の伸長はやや早く、萌芽性中である。貯蔵性では、「ベニアズマ」より優れる。病虫害抵抗性では、サツマイモネコブセンチュウに対しては中、つる割

病では強、黒斑病では中、立枯病では中の抵抗性を持つ。

(3) 品質特性

「からゆたか」の蒸しいも品質等の特性を表2に示した。蒸しいもの食味は中程度で「高系14号」並、肉質は粘質である。蒸しいもの糖度は「高系14号」並で、黒変度は中、肉色は黄、繊維の多少は中である。粘質タイプの焼きいもに適する。

4. 適地及び栽培上の留意点

栽培適地は全国のサツマイモ栽培地域である。当初は、佐賀県上場地域の一部生産者が栽培する見込みである。つるの伸長が早く、巻きつる性があるので、適期に採苗する。栽培期間が長くなると栽培条件によっては規格外の大いもの割合が増えるこ

表2 「からゆたか」の品質特性

品種・系統名	育成地における蒸しいも評価 ¹⁾ (2008-2013)						焼きいも実需者評価 ²⁾ (2009-2012)		
	マルチ早掘栽培		マルチ標準栽培				食味	糖度	適性判定
	食味	糖度	食味	肉色	肉質	糖度			
からゆたか	中	18.6	中～やや上	黄	粘	19.5	やや上	24.8	上～やや上
標準) ペニアズマ	やや上	18.1	中～やや上	黄	粉	18.9	やや上	26.5	上
比較) 高系14号	中	17.1	中	黄白	中	19.2	－	－	－

注 糖度はBrix%、3倍量の水で希釈し、屈折糖度計で測定、換算した。1) 早掘は収穫から約10日、標準は1ヶ月後に調査。2) からゆたかは宮崎県産(2009-2010)かマルチ標準栽培育成地産(2011-2012)、ペニアズマは実需者通常使用品(茨城県産)。適性判定：上、やや上、中、やや下、下。

とがあるため、適期に収穫する。「からゆたか」の種苗は、今後、利用許諾契約を締結した民間種苗会社を通じて販売される予定である。

5. おわりに

サツマイモの別名「唐いも」の「から」と、多収性を表す「ゆたか」を組み合わせ、「からゆたか」と命名した。「からゆたか」は、「高系14号」や「ペニアズマ」を上まわる早掘り適応性がある。短期間でいもが肥大して収量を上げることができ、蒸しいもの糖度も「高系14号」並であるため、栽培期

間の短い地域や早掘栽培への導入に適している。「からゆたか」の導入により、既存産地では短期間の栽培での収量が向上するほか、他作物や野菜との組合せの自由度が増す。また、栽培期間が限定される地域でのサツマイモの新規作付が可能となる。「からゆたか」が新しい可能性を開くことを期待したい。

「からゆたか」育成者

熊谷亨、藏之内利和、高田明子、中村善行、片山健二、藤田敏郎、中谷誠